

## 社会福祉法人上溝緑寿会とは…

### 社会福祉法人上溝緑寿会は

1994年11月14日に設立されました。最初の拠点として、コスモスセンターが1996年に完成し、以降、グループホーム・認知デイ秋桜(2006年～)、相模原市立星が丘デイサービスセンター、星が丘地域包括支援センター(2006年～)と3つの拠点で、地域での高齢者ケアの実践を重ねてきました。

### 法人本部のあるコスモスセンターは

市内で最も多目的な高齢者福祉の総合施設とし

て、介護保険事業の他、地域包括支援センターや訪問給食など、相模原市や市社協からの委託事業を行っています。地域の方が交流する場を提供します。

#### 法人本部(コスモスセンター内)

〒252-0243 相模原市中央区上溝

5423番地5

TEL 042-768-1801

FAX 042-768-1665



## 『ずっと我が家』プロジェクトへのご支援を募集しています

### 『ずっと我が家』プロジェクトへのご支援を

プロジェクトを支援してくださる方を募集しています。資金の応援、アイデアの応援、体(?)の応援、なんでもOKです。「こんなことができないかな」と思う方は是非お声かけください。

### 『ずっと我が家』応援拠点建設資金の応援

建設資金の応援(ご寄附)は、一口 10,000 円以上でお願いしています。

ご寄附いただいた方には、受取証を発行するとともに、ご希望を確認の上、『ずっと我が家』応援拠点内に完成時に設置するモニュメントにお名前を記載します。

建設資金寄附受入専用郵便振替口座

記号番号 00210-0-109151

口座名称 社会福祉法人上溝緑寿会

手数料受取人払の専用郵便振替用紙をご用意しておりますので、お申し付けください。

### 『ずっと我が家』プロジェクトへの参加

『ずっと我が家』応援拠点の「名称(愛称)の募集と審査」、「建物内地域交流スペースの利用アイデア」や「外部庭園のスペースのデザイン」、その他のアイデアなど、**プロジェクトの企画に参加してくださる方を募集**しています。

ワークショップの開催、インタビューの実施などいろいろな切り口を考えています。**所定のエントリーシート(申込書)でお申し込みください。**

### ご寄附や参加申し込みされた方へ

「ずっと我が家ニュース(仮称)」をお送りし、情報提供するとともに、催し物や企画等のお知らせを行います。

#### お問い合わせやお申し込みは

法人本部(ずっと我が家担当)まで

TEL 042-768-1801

Eメール [info@cosmos-c.or.jp](mailto:info@cosmos-c.or.jp)

社会福祉法人 上溝緑寿会 「ずっと我が家」プロジェクト

詳しくは <http://www.cosmos-c.or.jp/wagaya.html>



### 俺たちは がむしゃらに働いてきた

俺たちみんな 街から出て 働いた  
スクラムを組んで 日本のGDPを押し上げた  
明日は 確実に未来となっていた  
小さいながら 自分の家も建てた  
そして

明日が見えなくなってきた 今  
俺たちはこの街に帰ってきた

俺たちの居場所は この街だ  
我が家があり 居場所があれば  
俺たちは ここで暮らす  
この街のために 未来のために

この街で生きたい 「ずっと我が家で」

『ずっと我が家』応援拠点 第1次マスターplan エントランス部イメージ

## 『ずっと我が家』プロジェクトスタート！

## 上溝本町に『ずっと我が家』応援拠点を建設します

### 社会福祉法人上溝緑寿会は

新たな高齢者福祉の拠点として、上溝本町に『ずっと我が家』応援拠点を建設することとなりました。泊り(ショートステイ定員40名)、通い(デイサービス定員40名)、訪問・在宅介護支援(ホームヘルプ)の3つの機能で、超高齢社会の到来に備え、ご高齢になっても、できるだけ、住み慣れた地域にあるご自宅で暮らすことのできるよう、『ずっと我が家』を専門職と地域が支援する拠点です。

### 建設する場所は

「社会福祉施設の用地」として法人へ寄付するご意向をいただいた、上溝本町の交差点にほど近い

約1,000坪の土地です。古家、土蔵、日本庭園の周りを、竹林、桜、欅等が取り囲み、街中でも自然豊かなところです。ここに、豊かな自然環境を生かしながら、3つの機能が相互に連携したサービス提供を行うとともに、子どもや大人、様々な地域の方が交流する場を提供します。

### この事業は

当法人が進める「ずっと我が家」プロジェクトの一環です。このパンフレットは、私たち法人全職員の『ずっと我が家』で暮らせる地域の実現への想いをお伝えし、ご支援を地域の皆様に呼びかけるために作成いたしました。

社会福祉法人 上溝緑寿会 「ずっと我が家」プロジェクト

詳しくは <http://www.cosmos-c.or.jp/wagaya.html>

## 2015年 団塊の世代は65歳に…

2015年…この年は日本社会にとって大きな節目の年となります。約800万人といわれる「団塊の世代」の皆さんが65歳を迎え、超高齢社会の本格的な幕開けとなる時期です。

社会福祉法人上溝緑寿会は、高齢社会が新たな段階を迎えるようとするこの時に、「地域の高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らせる」とを支援する」という法人理念に基づき、上溝本町地区に新たな拠点として、『ずっと我が家』応援拠点を建設することとしました。

### 高齢者が地域で暮らることは、 地域が豊かであることの証(あかし)

「寄る年波」という言葉に代表されるように年齢を重ねていくことは「何かを失っていく」といったマイナスイメージでとらえられがちです。

しかし、そのとらえ方は「違う」と思います。

年を重ね、生き抜いてきたことは、それだけでは「価値」があることです。その「価値がある」高齢者が、いつまでも地域で暮らせることができれば、地域がより豊か、深みのある(懐が深く、安心できる)社会となるのではないかでしょうか。

高齢者の様々な知恵や経験を後の世代が受け継ぐ、というだけではなく、時代を生き抜いた姿を子どもをはじめとする次世代に見せ、共に生活することが、豊かな地域…ふるさとをつくりしていくことに繋がっていくと思います。

「高齢者の皆さんのが地域で暮らす」ことは  
地域にとって必要です  
『ずっと我が家』応援拠点には  
そのための支援を提供する専門職がいます

## 「お互い様」で助け合う地域コミュニティ…「居場所」をつくる

これからの地域…「地域コミュニティ」で必要なこと、あつらいいと思えることはなんでしょうか？それは、老若男女誰でも「居場所が見つけられる」ことだと思います。

子どもは、子どもなりの、若い人は若い人なりの、大人は大人なりの、高齢者は高齢者なりの居場所が見つけられること…。居場所があれば、安心して生活できます。「生活」とは「生き生きと活動すること」です。

地域で生活している一人ひとりが、自立しながらも、無理をせず自然体で協力する、お互いに助け合う関係づくりができる…人びとが地域の社会資源を分かち合いながら共に生きていくということ

が、先人が大切にしてきた本来の「生活」だと思います。

人びとが共に生き、その生活を引き継いでいくことが、地域(=「ふるさと」)をつくっていくことにつながっていきます。自然環境だけではなく、子どもも、大人も、高齢者も等しく地域の財産です。ふるさとをつくって守るためにには、「人」を大にする地域コミュニティを継続していくためには、地域の皆さんのがお互いに協力し合っていくことが大切です。キーワードは「お互い様」です。

『ずっと我が家』応援拠点は「お互い様」  
で老若男女が集える場をつくります



社会福祉法人 上溝緑寿会 「ずっと我が家」プロジェクト  
詳しくは <http://www.cosmos-c.or.jp/wagaya.html>

## このプロジェクトを応援してくださる方を募集しています

### 資金の応援(ご寄附)の募集

『ずっと我が家』応援拠点の建設は、行政の既存制度がない取り組みなので、公的な補助金制度は利用できません。

このため、建設資金の一部として、法人の自己資金や借入金の他に、このプロジェクトにご賛同いただける方に幅広く資金の応援(ご寄附)を呼びかけることとしました。

『ずっと我が家』基金(仮称)を設置し、地域、高齢者福祉関係者、一般に、本プロジェクトの趣旨を広くPRし、資金の支援(寄付)を募ります。

基金の収支状況や運営状況は、法人第3者委員に随時ご確認いただき、公開し、すべて新拠点の整備費に充てます。(なお、当法人は社会福祉法人なので、寄付の際には税法上の「寄附金控除」の対象となります。)

### プロジェクトの企画・運営への参加募集

『ずっと我が家』応援拠点の建設を含め、社会福祉法人上溝緑寿会では『ずっと我が家』で生活できる地域づくりを目指した、『ずっと我が家』プロジェクトに取り組んでいます。

「地域コミュニティの交流や居場所づくり」、「新たな協働(コラボレーション)の場」のアイデア、新たな事業の取り組みの検討等に、地域の方に気軽に、また積極的に参加していただきたいと思っています。

『ずっと我が家』応援拠点の名称、地域交流スペースの設えや利用ルール、などなど、興味と関心のある方はぜひお声かけください。

ワークショップの開催やアンケートなど様々な情報をご提供させていただきます。

詳しくは本パンフ4面あるいは下記URLへ